

氏名	きよまつ 清松	ひろし 大	職名	講師	就任年月	2021年（令和3年）4月
【学歴】	2015年3月 慶應義塾大学文学部人文社会学科国文学専攻卒業 2017年3月 慶應義塾大学大学院文学研究科国文学専攻修士課程修了 2020年3月 慶應義塾大学大学院文学研究科国文学専攻後期博士課程所定単位取得退学					
【取得学位】	修士（文学）（慶應義塾大学） 博士（文学）（慶應義塾大学）					
【職歴】	2016年4月 学習院高等科非常勤講師（～2021年3月迄） 2020年4月 慶應義塾大学文学部非常勤講師（～2021年3月迄）					
【専門分野】	日本近代文学 日本近代思想史 近現代文化史					
【研究課題】	洋行前後から大正期にかけての永井荷風の思想形成および文学的営為 明治30年代のニーチェ移入を中心とした外来思想受容および宗教問題・言説 の生成と同時代文学との関係性 日中戦時下のメディアにおける小説や漫画等による「大陸」表象					
【担当科目】	人間と文学 日本語理解A～D					
【学会・社会活動】	日本近代文学会 日本社会文学会					

【主な研究業績】

区 分 (単・共別)	著 書 ・ 論 文 名 等	発行所・掲載誌・発表学会等	発行・発表 年 月
著書 (共)	「上田広「黄塵」と文学の〈大衆性〉への欲望 —『文藝首都』から『大陸』への転載をめぐる 問題系」	小平麻衣子編『『文藝首都』 —公器としての同人誌』 第4部（翰林書房）	2020年1月
著書 (共)	「時代思潮と小説評価の歪曲 — 永井荷風 「地獄の花」の同時代受容とニーチェイズム」	公益信託松尾金藏記念奨学基 金編『明日へ翔ぶ—人文社会 学の新視点5』（風間書房）	2020年3月
論文 (単)	「〈従軍記〉の拡散と変容 — 戦時下メディア における池田さぶろの漫画作品」	『跨境 日本語文学研究』 第6号	2018年8月
論文 (単)	「〈国民〉から〈民衆〉へ — 永井荷風 「父の恩」の日露戦後空間」	『日本近代文学』第99集	2018年11月
論文 (単)	「錯綜する〈神秘主義〉と〈自然主義〉 — 洋行期永井荷風の音楽論生成をめぐる」	『藝文研究』第115号	2018年12月
論文 (単)	「相剋する信仰と懐疑 — 明治期ハンセン病文学と「信心」のゆくえ」	『社会文学』第52号	2020年8月
論文 (単)	「〈劇薬〉としての外来思想と宗教 — ニーチェイズムとモルモン教の奇妙な結合 」	『JunCture 超域的日本文化研 究』 第12号	2021年3月
論文 (単)	「〈癩文学〉の大衆化と科学 — 北條民雄神話 の形成から小川正子『小島の春』へ—」	『社会文学』第55号	2022年3月
論文 (単)	「戯画化されるニーチェ — 「滑稽」と「諷刺」 の模倣 —」	『日本研究』第64集	2022年3月
学会発表 (単)	「戯画化される〈ニーチェ〉 — 通俗的イメージの形成と流布をめぐる」	日本近代文学会 2018年度秋季大 会	2018年10月
シンポジウム (共)	「漢文脈の荷風 — 「下谷のはなし」「下谷叢話」と大正後期の文 学空間」	二松学舎大学 SRF シンポジウ ム「枕山と荷風 — 江戸の漢文 学は近代に何をもたらしたの か」	2019年12月